

フォーラム「科学技術時代における新たな死生観・倫理実践主体の創出をめぐる世代間対話」

趣旨：

本フォーラムは、科学技術時代の新たな死生観・倫理実践主体の創出をテーマに、日本と韓国にかかわるさまざまな現場からの参加者が、フォーラム、セミナー、シンポジウム、ワークショップなどの形式で、専門横断的に対話し、日韓のあいだから新たな学際領域・社会実践を共創することを目的としている。

新たな死生観・倫理実践とは、軍事化・テロ・災害・難民化・ヘイトクライムなどの常態化する現代世界の状況に対し、生命の非孤立化・非序列化が最重要の価値であるとの認識にもとづくものである。

日韓の人文社会的資源を、科学技術時代の今日的課題にたいする現場の声とつきあわせ再活性し、あわせて地域・多文化共生という観点から社会実践に活用しえる指導的人材の養成もめざしている。

各日テーマ：

9月17日「難民化・ヘイトクライムから生命の非孤立化、非序列化へ」

9月18日「科学技術時代の倫理実践としての〈実心実学〉」

9月19日「東北発の新たなリーダーシップ像を、日韓の歴史と未来から考える」

共催：東北学院大学地域共生推進機構

日本東アジア実学研究会

未来共創新聞

東北大学日本思想史研究室

後援：駐仙台大韓民国総領事館

東北大学グローバル安全学トップリーダー養成プログラム

9月17日（土）プログラム

@東北学院大学土樋キャンパス 8号館3F 第3、第4会議室

8:30 開場

8:40~8:45 開会挨拶 松本宣郎（東北学院大学・学長）

8:45~8:50 祝辞 鄭大守（駐仙台大韓民国総領事館・副総領事）

8:50~9:00 全体趣旨説明 片岡龍（東北大・准教授）

「難民化・ヘイトクライムから生命の非孤立化、非序列化へ」ファシリテーター：郭基煥（東北学院大学・教授）

第一部：フォーラム「東日本大震災(3.11)・セウォル号事件(4.16)・相模原事件(7.26)後のコミュニティ」

9:00~10:00 特別講演 金泰昌（公共哲学共働研究所・所長、東洋フォーラム・主幹）

「まず韓・日の『活命連帯』を提案する」

10:00~10:20 応答1 大澤史伸（東北学院大学・准教授）

10:20~10:40 応答2 辻明典（福島県立特別支援学校講師、てつがくカフェ@南相馬）

10:50~11:50 質疑応答・全体討論

第二部：セミナー「災害ボランティア・ケア倫理における生命の語り、共感、相互成長」

13:00~14:00 参加者自己紹介

14:00~15:20 特別講演者と学生（東北大・東北学院大 計15人）との対話

15:20~15:40 問題提起1 俞幬蘭（東北大学・院、臨床心理士）

「臨床心理士の現場から」

15:40~16:00 問題提起2 金菱清（東北学院大学・教授）

「痛みを温存する「記録筆記法」の実践」

16:00~17:30 全体討論

9月18日（日）プログラム

@東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟 1F 105ミーティングルーム

シンポジウム「科学技術時代の倫理的実践としての〈実心実学〉」

ファシリテーター：片岡龍（東北大学准教授）

8:30 開場

9:00~10:00 基調講演 小川晴久（東京大学・名誉教授）

「日韓中〈実心実学〉研究のあゆみ —南の発見と実学概念の蘇生—」

10:00~10:30 参加者自己紹介

10:40~12:10 報告1 澤井啓一（恵泉女学園大学・名誉教授）

「尹拯（1629-1714）の〈実心実学〉 —ディシプリンからプラクティスへ—」

報告2 高橋恭寛（東北大学・専門研究員）

「山鹿素行（1622-1685）の実学 —やむを得ざる自然と日用—」

13:00~14:30 報告3 柳生真（未来共創新聞・編集主任）

「霞谷鄭齊斗（1649-1736）の実心実学」

報告4 宣芝秀（東北大学・院）

「伊藤仁斎（1627-1705）の「実心実学」 —「平和実学」としての可能性—」

14:40~16:10 報告5 渡邊裕馬（埼玉大学・院）

「韓南塘（1682-1751）の実心実学を通して見た先儒批判—「読農巖性悪論弁」再考—」

報告6 片岡龍（東北大学・准教授）

「蔡温（1682-1762）〈実心実学〉初探」

16:20~17:50 全体討論1

問題提起 大橋健二（フリージャーナリスト、鈴鹿医療科学大学・講師）

「〈実心実学〉と日韓の今日的課題との対話」

コメント 金泰昌（公共哲学共働研究所・所長、東洋フォーラム・主幹）

18:50~20:20 全体討論2「東アジア実学研究会の今後の活動について」

総括 小川晴久（東京大学・名誉教授）

9月19日（月）プログラム

@東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟 1F 105ミーティングルーム

ワークショップ「東北発の新たなリーダーシップ像を、日韓の歴史と未来から考える」

ファシリテーター：松谷基和（東北学院大学・准教授）

8:30 開場

9:00~10:00 基調提言 浅野豊美（早稲田大学・教授）

「東北人のフロンティア —植民地なき戦後開発を越えて」

10:00~10:30 参加者自己紹介

- 10 : 30~12 : 00 問題提起1 佐々木隼相 (東北大学・院)
「オーセンティックリーダーシップとスピリチュアルリーダーシップ」(仮)
問題提起2 柳生真 (未来共創新聞・編集主任)
「安昌浩の<興土団>」
コメント1 小川晴久 (東京大学・名誉教授)
- 13 : 00~14 : 30 問題提起3 松本行真 (東北大学・准教授)
「『日本のいちばん長い日』から考えるリーダーシップ」
問題提起4 中田みずき (東北大学・院)
「ポツダム宣言受諾会議における好生 (東郷茂徳) と愛国 (阿南惟幾)」(仮)
コメント2 金泰昌 (公共哲学共働研究所・所長、東洋フォーラム・主幹)
- 14 : 40~16 : 10 学生討論 東北大・東北学院大学生 計10人
- 16 : 20~17 : 50 発展討論「リーダーシップ (アクティブシティズンシップ) 養成と日韓の人文社会資源」